

As of 2015/5/21

本社住所	大阪府中央区伏見町4丁目4番1号 日生伏見町ビル本館4階					
代表者	神崎 義英	設立	昭和27年4月	資本金	120,000	千円
経営理念	化粧品受託製造業界のグローバルNo.1企業を目指し、常に顧客満足を考えて安全で安定な化粧品を開発します。当社の優れた技術で新しい化粧品を開発し、お客様から望まれる品質の製品を提供します。					
業種分野	製造業					
連絡先	045-989-2881 (横浜研究所)	HPアドレス等	http://www.kolmar.co.jp/			

事業内容のご紹介

- ・化粧品・医薬部外品の受託生産(設計、開発、製造)、これらに付帯する原料、資材の販売
- ・海外化粧品メーカーに対する技術指導並びに原料資材の輸出
- ・外国化粧品および関連資材の輸入販売
- ・健康食品・健康飲料および清涼飲料の販売

1. PRポイント

情報力:創業以来1世紀にわたる化粧品の製造と開発のノウハウが蓄積された自社ライブラリーを保有しております。海外拠点を含む8つの拠点到ネットワークで結ぶ事により、多様な得意先ニーズを短期間でこなしていく、効率的なODM生産を実現します。

生産技術:優れた製品企画やその生産を実現する革新的な手法を開発し、効果的な大量生産から消費者ニーズの多様化による少量生産にも充分対応できる柔軟な生産体制を整備しています。

国際性:世界最大の化粧品受託メーカー、米国コルマーラボラトリーズ社と包括的業務提携契約を結び、そのネットワークを活かし、刻々と変化する世界各国のマーケットから有効な情報をリアルタイムに収集し開発・製造に生かしています。

研究開発:当社は日本国内に4か所の研究所(柏原・八尾・出雲・横浜)があり、本格的開発機能をもった化粧品受託生産会社です。さらに、世界各国のコルマーグループの、多数の研究陣と新製品開発の情報交換を行い、消費者ニーズの多様化に合わせ、優れた新製品を次々と内外の化粧品市場に送り出しています。

2. 製品・サービスイメージ

弊社は研究開発に強いOEM企業として、次々と新たな素材、化粧品を生みだしています。その中でも横浜研究所では、化粧品を作る上での基盤技術開発を行っています。例えば、従来のUVカット素材はUVA(コラーゲン分解酵素の活性化、メラニン合成活性化、DNA、タンパク、脂質の酸化を引き起こす)やUVB(DNAの損傷、メラニン合成活性化)に対して、紫外線吸収剤でのエネルギー変換による吸収や、散乱剤などによる反射によって紫外線から肌を保護していますが、横浜研究所では、新しい概念の光の反射能を実現する特殊な液晶構造を持った新素材および赤外線から皮膚を保護する新しい化粧品を開発します。

【アクアライザー II】



【代表者メッセージ】

化粧品には他分野の様々な技術や素材が生かされています。様々な分野の技術や素材からこれまで見えなかったようなつながりを見つけ出し、女性の美の追求、QOLの向上にお役に立てるような技術開発と、その有効性を可視化する評価技術の追求を行なっています。

【従来のUVカット素材の問題点と弊社の着目点】

